

2020 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじんおかやまうーふえ	
団体名	特定非営利活動法人おかやま UFE	
代表者名	理事長 水谷賢	
連絡先	住所	岡山市北区東古松 2-2-9 うてんて 102
	TEL	086-231-0841
	E-mail	sumasapo@utenti.click
	URL	https://utenti.click/
設立年（西暦）	2015 年	
助成活動名	一時的な住居を必要とする方へのシェルター事業の運営	
助成額	3,000,000 円	
活動内容	目的	岡山市内には、救護施設（1 施設（定員 90 名））や国の生活困窮者自立支援制度に基づくシェルター等があるが、入所期間の長期化等によって、満室のために新規に受け入れられないことも少なくない。また、空室がある場合でも、「男性の被害者が避難できない」、「妊婦の受け入れが難しい」、「一定年齢以上の男の子と母親は一緒に避難できない」等の理由によって、支援を必要とする者のニーズに合わないケースも見られる。また、救護施設等の法令に基づく施設は対象者の範囲が法令で定められていること、生活困窮者自立支援制度に基づくシェルターは、運営主体がホームレス支援を主とする団体であることが多い。一方でシェルターを必要とする者は、高齢者、障害者、未成年、母子、DV、刑余者等多様であり、加えて、「障害の子を抱える母子家庭」等、重層的な課題を抱えることも少なくない。本法人による取組は、対象者の範囲が限定されておらず柔軟な受け入れが可能であること、また、相談内容に応じて適切な専門家による対応が可能であることで、制度の「狭間」にある者の一時的な受け皿となり、住宅や医療・福祉等の制度による支援につなげていく役割を担うものである。
	内容	支援を必要とする者に対し、低廉な料金で、必要最低限の家具等を備えた、一時的な住居を提供すること。また、必要に応じて、専門家による相談・支援を行い、生活保護や介護保険等の適切な支援につなげること。
	成果	2020 年度は、延べ 34 組 38 名がシェルターを利用した。内訳は、男性 17 名、女性 20 名と男性の利用割合が低くなかった。未成年者 4 名、20 代 3 名、30 代 1 名、40 代 5 名、50 代 8 名、60 歳以上 17 名と高齢者の比率が比較的多かった。被虐待による利用は延べ 14 名だった。 シェルター利用後の行先は、民間賃貸 18 組 20 名、親せき宅 3 名、自宅に戻る延べ 2 名、入院 1 名、シェルター利用お断り 3 名、不明（シェルターからいなくなった）3 名、3 月末以降シェルター利用を延長した者が 6 組 7 名だった。シェルター利用延長者を除いた 28 組 31 名中、18 組 20 名が民間賃貸物件を借りて地域で再び暮らしていくことができている。

今後の課題と対応策

年度末近くになってから、新型コロナ禍によって収入等が減少したと思われる世帯の立ち退きの強制執行案件が増加してきている。執行官等から依頼がある都度、シェルターを準備して受け入れているが、受け入れの限界が近づいている。
県外からの利用希望者も増えてきているが、コロナのこともあり、受け入れが難しくなっている。行政をも巻き込んだシェルター制度の創設が必要ではないかと考えている。



写真の提出

